

「ソチ五輪の競技に関する調査」

(五輪後)

産業能率大学スポーツマネジメント研究所

ソチ五輪で行われた競技種目の中で...

<p>男の子にさせたい スノーボード</p>	<p>女の子にさせたい フィギュア</p>
<p>五輪以外でも見たい フィギュア</p>	<p>自分でやってみたい カーリング</p>

■ 各項目トップ3

項目	1位	2位	3位
観戦率	フィギュア	ジャンプ	スノーボード
満足度	フィギュア	ジャンプ	スノーボード
男の子にさせたい	スノーボード	フィギュア	アルペン
女の子にさせたい	フィギュア	カーリング	スノーボード
五輪以外でも見たい	フィギュア	ジャンプ	スノーボード
自分でもやってみたい	カーリング	スノーボード	フィギュア

この調査に関するお問い合わせ先 (学) 産業能率大学 企画広報部企画広報課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 電話：03-3704-9040、ファクス：03-3704-9404

産業能率大学スポーツマネジメント研究所は、ソチ五輪閉幕後に、ソチ五輪で行われた競技種目について、「視聴した競技」や「子どもにさせたい競技」などを尋ねる調査を実施しました。

調査の結果、ソチ五輪で行われた競技の中で**最も多くの人**が観戦したのは「フィギュアスケート」で、3人に2人が「視聴した」と回答しました。また15歳以下の子ども・孫がいる人を対象に、“子どもにさせたい”競技を尋ねたところ、**男の子は「スノーボード」、女の子は「フィギュアスケート」**がそれぞれ1位に選ばれました。「スノーボード」は若い選手の活躍もあり、男の子で1位・女の子で3位にランクインするなど、親世代へも関心が広がっているようです。

本学では、五輪前に「ソチ五輪の選手と競技に関する調査」、五輪後に、事前・事後調査結果を比較分析した「ソチ五輪の選手に関する調査」を実施・発表しています。今回はソチ五輪の“競技”に関する調査結果をまとめました。五輪後調査は1千人を対象に2月25日に、インターネット調査会社を通じて実施しています。

調査概要(五輪後調査)

調査方法 : インターネット調査
調査期間 : 2014年2月25日
調査対象 : 20代から60代までの各10年代で、男女各100名 合計1000人

各項目について :

観戦率 = ソチ五輪の競技中継(録画放送やダイジェストを含む)を視聴した比率。

満足度 = 視聴した競技に関して、回答に応じてポイント換算し合計値を算出。
(「かなり満足」=5pt 「やや満足」=3pt 「やや不満」=1pt 「かなり不満」=0pt)

男(女)の子にさせたい競技 = 15歳以下の男(女)の子のお子さんやお孫さんがいる回答者を対象に、ソチ五輪の競技種目の中で「男(女)の子にやってほしい」と回答された比率。(複数回答可)
※男の子のお子さんやお孫さんがいる(n=155)/女の子のお子さんやお孫さんがいる(n=151)

五輪以外でも見たい競技 = ソチ五輪で行われた競技種目の中で「五輪期間以外でも、中継があれば視聴してみたい」と回答された比率。(複数回答可)

自分でもやってみたい競技 = ソチ五輪で行われた競技種目の中で「自分でもやってみたい」と回答された比率。
(複数回答可)

【観戦率】

1位 フィギュアスケート

2位 ジャンプ

3位 スノーボード

ソチ五輪での競技観戦率1位は、フィギュアスケート(67.5%)、次いでジャンプ(51.8%)となり、それぞれ過半数を超える高い観戦率となりました。

【満足度】

1位 フィギュアスケート

2位 ジャンプ

3位 スノーボード

ソチ五輪で視聴した競技全般の満足度を尋ねたところ、上位5位まで日本選手団がメダルを獲得した競技が並びました。

【観戦率】

順位	競技	%
1	フィギュアスケート	67.5
2	ジャンプ	51.8
3	スノーボード	47.1
4	カーリング	36.2
5	ノルディック複合	35.9
6	フリースタイル	33.7
7	スピードスケート	31.6
8	アルペン	30.4
9	ショートトラック	20.2
10	クロスカントリー	17.1
11	アイスホッケー	15.9
12	ボブスレー	8.2
13	スケルトン	5.2
14	リュージュ	5.0
15	バイアスロン	4.2

※競技中継(録画放送やダイジェストを含む)を視聴した比率

【満足度】

順位	競技	ポイント
1	フィギュアスケート	2467
2	ジャンプ	1980
3	スノーボード	1784
4	ノルディック複合	1279
5	フリースタイル	1116
6	カーリング	1040
7	アルペン	984
8	スピードスケート	776
9	クロスカントリー	541
10	ショートトラック	491
11	アイスホッケー	404
12	ボブスレー	224
13	スケルトン	160
14	リュージュ	159
15	バイアスロン	118

※視聴した競技に関して、回答に応じてポイント換算した合計値
「かなり満足」=5pt 「やや満足」=3pt 「やや不満」=1pt 「かなり不満」=0pt

【男の子にさせたい競技】

- 1位 スノーボード
- 2位 フィギュアスケート
- 3位 アルペン

男の子にさせたい競技を尋ねたところ、スノーボードが1位に。平野選手や平岡選手などの若い選手の活躍もあり、“親世代”への関心も高まっているようです。

【女の子にさせたい競技】

- 1位 フィギュアスケート
- 2位 カーリング
- 3位 スノーボード

女の子にさせたい競技の1位は、フィギュアスケート。男の子にさせたい競技で9位だったカーリングが2位に入っています。

【男の子にさせたい競技】

順位	競技	%
1	スノーボード	19.4
2	フィギュアスケート	11.6
3	アルペン	7.7
4	スピードスケート	6.5
5	ノルディック複合	5.8
6	クロスカントリー	5.2
7	ジャンプ	4.5
8	フリースタイル	3.9
9	ショートトラック	3.2
	ボブスレー	
	カーリング	
12	アイスホッケー	2.6
	スケルトン	
14	リュージュ	1.3
	バイアスロン	

※15歳以下の男の子のお子さんやお孫さんがいる回答者(n=155)を対象に、ソチ五輪の競技種目の中で「男の子にやってほしい」と回答された比率(複数回答可)

【女の子にさせたい競技】

順位	競技	%
1	フィギュアスケート	28.5
2	カーリング	9.3
3	スノーボード	8.6
4	フリースタイル	6.6
5	アルペン	4.6
6	ジャンプ	4.0
7	クロスカントリー	3.3
8	バイアスロン	2.7
9	ノルディック複合	2.0
	スピードスケート	
11	ショートトラック	1.3
	アイスホッケー	
	ボブスレー	
14	スケルトン	0.7
	リュージュ	

※15歳以下の女の子のお子さんやお孫さんがいる回答者(n=151)を対象に、ソチ五輪の競技種目の中で「女の子にやってほしい」と回答された比率(複数回答可)

【五輪以外でも視聴したい】

1位 フィギュアスケート

2位 ジャンプ

3位 スノーボード

ソチ五輪で行われた競技種目の中で、「五輪以外でも視聴したい」競技の1位は、フィギュアスケート。また国際大会での活躍が連日報じられているジャンプやスノーボードへの関心も高いようです。

【自分でもやってみたい】

1位 カーリング

2位 スノーボード

3位 フィギュアスケート

「自分でやってみたい」競技の1位はカーリング。観戦率で4位に入った同競技は、勝負の駆け引きや戦術など、競技への理解度が増したことも一因と考えられます。

【五輪以外でも視聴したい】

順位	競技	%
1	フィギュアスケート	48.3
2	ジャンプ	28.6
3	スノーボード	22.1
4	カーリング	15.9
5	アルペン	13.3
6	フリースタイル	12.6
7	ノルディック複合	10.3
8	スピードスケート	10.1
9	アイスホッケー	6.5
10	クロスカントリー	5.1
11	ショートトラック	4.3
	ボブスレー	
13	リュージュ	3.7
14	スケルトン	3.3
15	バイアスロン	2.2

※ソチ五輪で行われた競技種目の中で「五輪期間以外でも、中継があれば視聴してみたい」と回答された比率（複数回答可）

【自分でもやってみたい】

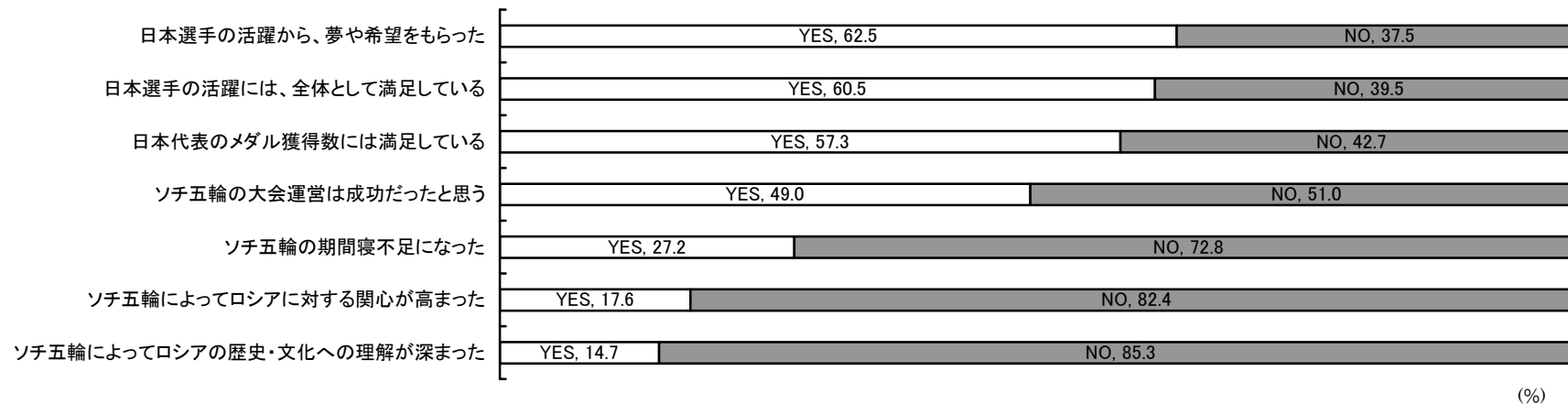
順位	競技	%
1	カーリング	12.5
2	スノーボード	7.8
3	フィギュアスケート	5.6
4	ジャンプ	3.5
5	アルペン	3.2
6	フリースタイル	1.8
7	スピードスケート	1.4
8	アイスホッケー	1.2
9	ショートトラック	1.1
	ノルディック複合	
11	ボブスレー	0.8
	クロスカントリー	
13	リュージュ	0.4
14	スケルトン	0.3
15	バイアスロン	0.2

※ソチ五輪で行われた競技種目の中で「自分でもやってみたい」と回答された比率（複数回答可）

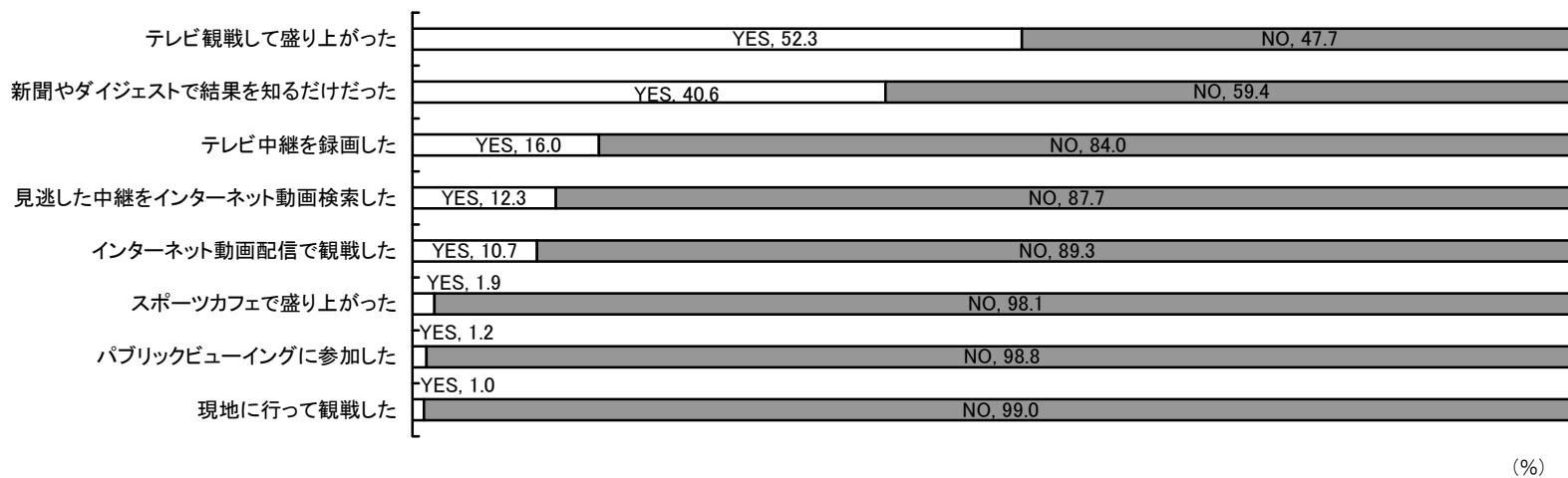
(ご参考：データ集)

■ソチ五輪

1. 全般



2. 観戦手段



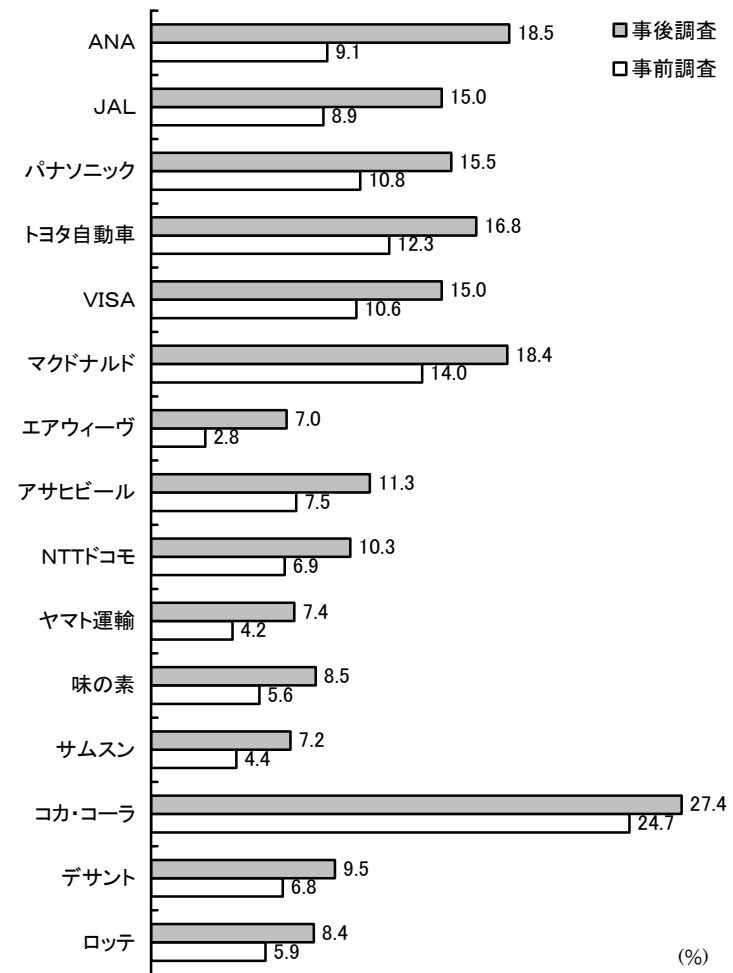
3. 五輪スポンサーとしての企業認知

※ソチ五輪事前調査(実施：1月28日～2月3日/2万人対象)における五輪スポンサーとしての企業認知と、五輪後調査(実施：2月25日/1000人対象)における五輪スポンサーとしての企業認知の比率差。

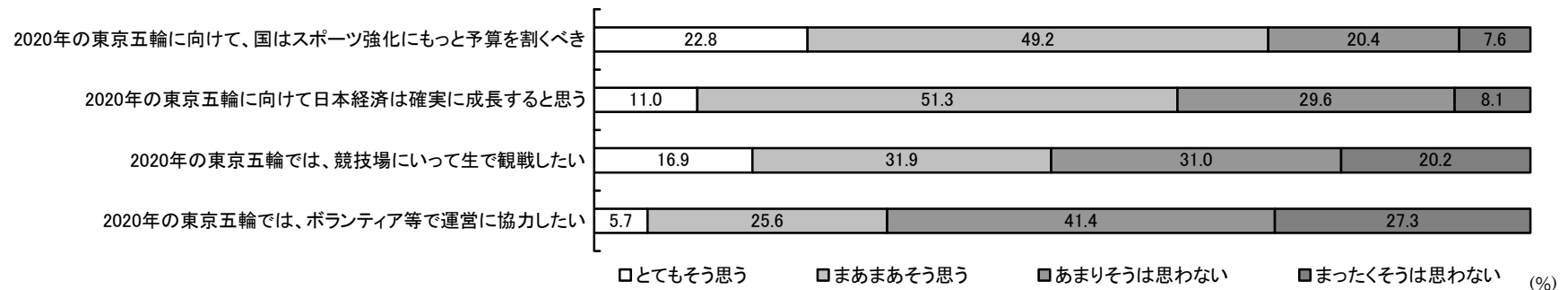
【五輪スポンサーとしての企業認知 比率差 トップ10】

順位	企業名	五輪前(n=20000) (%)	五輪後(n=1000) (%)	差分 (%)
1	ANA	9.1	18.5	+9.5
2	JAL	8.9	15.0	+6.1
3	パナソニック	10.8	15.5	+4.7
4	トヨタ自動車	12.3	16.8	+4.5
5	VISA	10.6	15.0	+4.5
6	マクドナルド	14.0	18.4	+4.4
7	エアウィーヴ	2.8	7.0	+4.2
8	アサヒビール	7.5	11.3	+3.8
9	NTTドコモ	6.9	10.3	+3.4
10	ヤマト運輸	4.2	7.4	+3.2

※小数点以下第二位四捨五入



■ 2020年東京五輪



■ 五輪全般

